

添削指導及び面接指導の指導方法書

1 添削指導

(1) 添削指導の進め方

・ 指導の回数

課題は 4 回とする。

・ 回答の提出期限

課題は講習演習の初回に配布し、4 週間以内に回収することとする。

・ 評価方法

課題回収後添削責任者は速やかに採点を行い、結果を返却する。

評価について、A（80 点以上）、B（70 点から 79 点）、C（60 点から 69 点）、D（60 点未満）の 4 段階とする。

・ 認定基準

C 以上を合格とする。D 評価者については 3 週間以内に再提出すること。

質問については、課題配布時に質問用紙を配布し、質問がある場合には、講習時に質問用紙を提出することにより受け付けをし、講師より質問用紙に回答を記載後受講者へ返却する。

(2) 課題（レポート）（別紙として添付）

2 面接指導

面接指導の講義・演習

科目（項目）名	内 容	研修時間
職務の理解	1) 多様なサービスの理解 2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	6 時間
介護職における尊厳の保持・自立支援	1) 人権と尊厳を支える介護 2) 自立に向けた介護	1. 5 時間
介護の基本	1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携 2) 介護職の職業倫理 3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント 4) 介護職の安全	3 時間
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	1) 介護保険制度 2) 医療との連携とリハビリテーション 3) 障害者総合支援制度およびその他制度	1. 5 時間
介護におけるコミュニケーション技術	1) 介護におけるコミュニケーション 2) 介護におけるチームのコミュニケーション	3 時間

老化の理解	1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常 2) 高齢者と健康	3 時間
認知症の理解	1) 認知症を取り巻く状況 2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 4) 家族への支援	3 時間
障害の理解	1) 障害の基礎的理解 2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 3) 家族の心理、かかわり支援の理解	1. 5 時間
こころとからだのしくみと生活支援技術	I 基礎知識の学習 1) 介護の基本的な考え方 2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 II 生活支援技術の講義・演習 4) 生活と家事 5) 快適な居住環境整備と介護 6) 整容に関連した こころとからだのしくみと自立に向けた介護 7) 移動・移乗に関連した こころとからだのしくみと自立に向けた介護 8) 食事に関連した こころとからだのしくみと自立に向けた介護 9) 入浴・清潔保持に関連した こころとからだのしくみと自立に向けた介護 10) 排泄に関連した こころとからだのしくみと自立に向けた介護 11) 睡眠に関した こころとからだのしくみと自立に向けた介護 12) 死にゆく人に関した こころとからだのしくみと終末期介護 III 生活支援技術演習 13) 介護過程の基礎的理解 14) 総合生活支援技術演習	6 3 時間
振り返り	1) 振り返り 2) 就業への備えと 研修修了後における継続的な研修	4 時間

注 「添削指導の進め方」には、例えば、指導の回数、回答の提出期限、評価方法、認定基準、認定基準に満たない受講者に対する対応、質問に対する回答方法等を記載すること。